

平成30年度 事業報告（付属明細書）

本部（法人）関係

1 センター（あい丹後）を取り巻く状況等

平成30年度は、府内各市町村においてコミュニケーション条例等が制定されるなど、障害者福祉における制度の充実が着実に進められております。

福祉社会の充実に向けて、当センターも利用者やボランティアの協力、後援会の支援等も得ながら役職員が一丸となり運営してまいりました。

視覚障害者情報総合ネットワークシステム「サピエ」を活用した点字図書館業務の充実、奉仕員養成、同行援護事業の円滑な実施など利用しやすい環境づくりに努めてまいりました。また、11月17日（土）に開催した「2018 あい丹後ふれあいまつり」は、会場をアミティ丹後に移し初めて施設を離れて開催をいたしました。福祉に多くの方が目を向けていただき、地域の方々に視覚障害やセンターを知ってもらうため、今後も様々な工夫をしてまいりたいと考えます。

当センターは、行政や地域をはじめとする多くの支援者の方々のお力を借りながら、利用者やボランティアの方々と共に、視覚障害者の自立と社会参加による福祉の向上を目指して一層取り組んでまいります。

2 評議員会、理事会、監査会の開催状況

（1）評議員会

①第1回 平成30年6月8日（金）

△ 議長 井上 恵美

△ 議事録署名人 室田 邦枝 廣瀬 予志子

△ 出席評議員 17名

△ 議題

1 平成29年度事業報告について

2 平成29年度会計資金収支決算報告について

②第2回 平成30年11月20日（火）

△ 議長 芦原 誠

△ 議事録署名人 廣野 佳子 吉江 桃子

△ 出席評議員 15名

△ 議題

1 平成30年度事業（中間）報告並びに平成30年度会計資金収支（中間）報告について（中間監査報告）

③第3回 平成31年3月19日(火)

- △ 議長 酒井 忠繁
- △ 議事録署名人 吉江 桃子 千原 重巳
- △ 出席評議員 18名
- △ 議題

- 1 平成30年度資金収支第1回補正予算について
- 2 平成31年度事業計画について
- 3 平成31年度会計資金収支予算について

(2) 理事会

①第1回 平成30年5月24日(木)

- △ 議長 中村 基彦
- △ 出席理事 10名
- △ 出席監事 2名
- △ 議題

- 1 平成29年度事業報告について
- 2 平成29年度会計資金収支決算について

②第2回 平成30年11月8日(木)

- △ 議長 三浦 到
- △ 出席理事 10名
- △ 出席監事 2名
- △ 議題

- 1 平成30年度事業(中間)報告並びに平成30年度会計資金収支(中間)報告について (中間監査報告)
- 2 日常生活用具貸出規程の制定について
- 3 顕彰規程の一部改正について
- 4 センターで行う施設見学に伴う学習会等に要する講師雇用規程の制定について
- 5 苦情処理要領に規定の第三者委員の選考について
- 6 携帯用拡大読書器及びデジタル読書器貸出規程の廃止について

③第3回 平成31年3月8日(金)

- △ 議長 中村 基彦
- △ 出席理事 9名
- △ 出席監事 2名
- △ 議題

- 1 平成30年度資金収支補正予算について
- 2 平成31年度事業計画について
- 3 平成31年度会計資金収支予算について
- 4 管理規程の改正について

- 5 定款施行細則の一部改正について
- 6 音訳奉仕者資格認定審査委員会規程の一部改正について
- 7 給与規程の一部改正について
- 8 非常勤職員取扱要綱の一部改正について

(3) 監査会

- ①第1回 平成30年 5月17日 (決算監査)
- ②第2回 平成30年11月 1日 (中間監査)

3 施設の利用状況

区分 年度	会議・研修・他		学校		合計	
	回数	延人員	校数	延人員	件数	延人員
平成30年度	202	1, 183	7	169	209	1, 352
平成29年度	215	1, 528	8	171	223	1, 699
差引	△13	△345	△1	△2	△14	△347

4 相談事業

- (1) 日常生活用具等の相談(フレック、拡大読書機、白杖、音声腕時計等)
- (2) 行政手続きなどの相談
- (3) 視覚障害者団体(グループ)などの事業実施に係る相談
- (4) 困り事・悩みなどの相談

◎相談員活動実績

市町	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	与謝野町	伊根町	京丹後市	計
対象者	9	22	18	4	1	0	20	74
訪問数	20	73	57	11	5	0	43	209

5 日常生活用具の斡旋と販売

視覚障害の皆さんから要望される用具の斡旋や、所有している用品具の販売や器具の貸出、取り扱い指導などを行いました。

11月17日の「あい丹後ふれあいまつり」では、業者のご協力により日常生活用具等福祉機器の展示・説明を行い、来場者の好評を得ました。

6 視覚障害者団体などとの連携

- (1) 公益社団法人京都府視覚障害者協会や地域視覚障害者団体との連携
理事会や評議員会などの主な会議及び事業の実施にあたっては、京都府視覚障害者協会との連携を図り、事前に協議するなど円滑な実施に努め、地域視覚障害者団体行事への参加や事業の実施についての協力を行いました。

- ◎総会
- | | |
|-------|-------|
| 与謝支部 | 4月11日 |
| 京丹後支部 | 4月22日 |
- ◎集い等
- | | |
|-------|--------|
| 京丹後支部 | 12月 7日 |
| 宮津市視協 | 1月21日 |

◎講演会 京丹後支部 3月7日

◎第52回白杖安全デー府内北部集会 10月20日 宮津市

(2) 京丹後市福祉サービス事業者協議会への参加

京丹後市の全ての市民の福祉の向上のため、市内の福祉サービス事業者の連携と協調を図ると共に福祉の拡充強化を図り、併せて地域福祉の向上と増進に寄与することを目的に、京丹後市の呼びかけで平成17年10月に設立され、「障害者福祉部会」に所属し、月1回の定例会や講演会等に参加しました。

7 障害者福祉教育への協力

(1) 学校への講師の斡旋と派遣

点字体験：中学校1校

(2) センター見学と点字等体験学習の受け入れ

平成30年9月～31年2月の間に、京丹後市内の小学校4年生と、与謝野町内の小学校5年生、久美浜高校3年生の合計7校、169名の来館者を受け入れました。

(3) 夏休み親子点字教室

8月5日に実施し、参加者が3名と少なかったが、地元ケーブルテレビに取材していただきました。

8 研修会・全国大会等への参加

○指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導 6/5 綾部市

○京視協「新年のつどい」 1/10 京都市

○第2回府内北部地域福祉大会 3/2 福知山市

9 消防・防災訓練と設備等の点検

(1) 消防・防災訓練 2回(通報・避難訓練)

7/20 及び京丹後支部3月例会 3/7

(京丹後市消防署立会)

(2) 設備の点検

①自主点検(職員実施) 2回 ②業者設備点検 1回

10 顕彰(推薦を含む)

(1) センター顕彰規程による受賞者(感謝状)

2018 あい丹後ふれあいまつり

○点訳奉仕者 北野 照子 氏(宇治市)

同 中川 慶子 氏(宇治市)

- 音訳奉仕者 伊藤 光子 氏 (宇治市)
- 同 奥住 祥子 氏 (京丹後市)
- 同 吉岡 澄子 氏 (京丹後市)

(2) 日本盲人社会福祉施設協議会 (感謝状)

- 点訳奉仕者 北野 節子 氏 (向日市)
- 音訳奉仕者 西村 豊 氏 (久御山町)

11 広報活動

- (1) 「図書館だより」の発行 年2回(9月、1月)
- (2) 「ボランティア通信」の発行 年6回(偶数月)
- (3) ホームページの運用
- (4) 「2018あい丹後ふれあいまつり」開催
- (5) 行政機関等が発行する広報誌へ講習会等の開催広報
- (6) 後援会組織による活動

12 センター後援会への支援と協力

30年度もセンター事業の円滑な推進が図られるように、財政援助を中心に後援会への支援と協力を求め、一般助成金150万円の助成をいただき、一方、後援会活動を推進するため、組織強化(会員確保と勧誘)に協力しました。

13 施設管理

- (1) 建物の警備
大切な資産を守るため、引き続き、建物の警備(防犯、火災監視)を業務委託しました。
- (2) 建物の施設整備・保守管理
本館は、平成2年改築後、27年が経過し、風雨、季節風の直撃を受け、屋根や外壁などの維持管理が必要となります。これまでから修繕費用については、自主財源に乏しいため、助成採択の可否を見極めながら、施設管理に努めています。

「2018 あい丹後ふれあいまつり」のトピックス

平成30年11月17日(土) 10:30~15:30

来場者約230人(地域住民、ボランティア、京視協会員等)



中川理事長あいさつ



来賓：三崎政直京丹後市長(当センター後援会長)、丹後広域振興局長(代理)京視協藤原副会長、京丹後市社協藤田会長、網野町民協田茂井副会長、網野町桃山区吉岡区長



表彰を受ける音訳ボランティアの奥住祥子さん
あい丹後では、五年以上ボランティアとして活動し、一定の実績を積まれた方に感謝状と記念品の贈呈を行っています



点字体験



毎年会場を盛り上げてくれます、網野中学校吹奏楽部のみなさんによる演奏

また、多くご協力により、例年好評のサザエご飯、バラ寿司に加えて、刻みワカメや湯がきサザエなどの地元海産物などバラエティーに富んだ模擬店で賑わいました



音訳体験



今回のふれあいまつりは、会場をアミティ丹後に変え、バリアフリー映画上映会も同時開催しました



関西盲導犬協会のご協力により、盲導犬の実演講座をしていただきました



今年も司会進行や模擬店販売など、地元高校生がボランティアとしてお手伝いしてくれました

Ⅱ 情報提供施設（点字図書館）関係

視覚障害者情報提供施設として、点字及び録音図書の製作・整備、図書の貸出・閲覧を行いました。平成22年4月から運用開始された視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用し、視覚障害の方々がより利用しやすく、また、業務の効率化を図るため、データ化した点字図書及び録音図書の登録や点字による即時情報ネットワーク事業などを推進し、視覚障害者への情報提供に取り組んできました。

また、平成25年3月からはサピエと連携する「Web図書館システム」を導入し、図書管理業務の省力化を図っています。

1 図書館運営委員会の開催

(1) 開催状況

開催日 平成31年1月16日(水)

場 所 丹後視力障害者福祉センター研修室

内 容

- ① 音訳奉仕者資格認定について
- ② 未活動者の登録抹消について
- ③ 次年度の音訳新人養成講習会について
- ④ 音訳・点訳ボランティア活動に必要な書籍の貸与について
- ⑤ 次年度の点訳ボランティアの講習会等について

(2) 音訳奉仕者認定者

氏 名	住所地	氏 名	住所地
松浦 ちかえ	亀岡市	大島 雅子	城陽市
林 明子	亀岡市	野木 洋子	城陽市
島本 薫	亀岡市	新井 治子	城陽市
峰 れい子	城陽市	山田 久美子	城陽市
荘司 蓉子	城陽市	伊藤 妙子	城陽市
篠原 由美子	城陽市	森安 紀子	城陽市

2 音訳奉仕者資格認定審査委員会の開催

音訳奉仕者の資格認定について、技術的な分野を審査し、その結果を図書館運営委員会へ答申しました。

開催日 平成31年1月16日

(諮問：平成30年12月7日、答申：12月13日)

3 図書の整備状況

点訳・音訳奉仕者及びCD図書製作奉仕者の協力と支援を得て図書製作、寄贈、購入により図書整備を図りました。

(1) 点字図書・録音図書の整備状況

区 分	29年度 末蔵書数	平成30年度の整備					30年度 末蔵書数
		目標	購入	製作	寄贈	合計	
点字図書(冊)	23,408	450	0	253	131	384	23,792
録音図書(巻)	29,381	20	0	0	33	33	29,414
CD図書(枚)	6,780	360	37	155	142	334	7,114

(2) 点字・CD雑誌の整備状況

区 分	雑 誌 名 (種 類)	製作数	読者数	備 考
月 刊	木の芽 (俳句雑誌)	12	35	CD
月 刊	三療の友 (医学雑誌)	12	30	CD
隔月刊	図書だより (図書紹介)	6	70	CD
			15	メール
			35	点字
季 刊	こちら熟年放送局 (生活情報一般)	4	10	CD
季 刊	てんてん小町 (総合情報誌)	4	40	点字

※「広報京丹後おしらせ版」の音声版について

京丹後市から委託を受け、月1回、製作・発送を行っています。

(3月末現在 読者数24、内訳 :デージー版19人 一般CD版5人)

4 図書の貸出状況

(1) 点字図書・録音図書の貸出状況

<点字図書>

年度 \ 区分	延タイトル数
30年度	695
29年度	736
前年度比較	△41

<録音図書> テープ

年度 \ 区分	延タイトル数
30年度	357
29年度	427
前年度比較	△70

<CD図書> デイジー

年度 \ 区分	延タイトル数
30年度	7,190
29年度	7,714
前年度比較	△524

(2) 「サピエ図書館」の点字・デージーデータダウン状況

年度	区分	点字図書	デージー図書	備考
		ダウン回数	ダウン回数	
30年度		4, 191	35, 493	デージー図書は、再生を含む。
29年度		5, 240	30, 662	
前年度比較		△1, 049	4, 831	

5 「障害者の明るいくらし」促進事業

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、誰もが明るく暮らせる社会づくりを促進することを目的として、京都府から委託を受けて実施している事業です。

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業（点字JBニュースの提供）

<利用者>

○重度視覚障害者 点字版 24人（内、京都ライトハウス分9人）

メール版 43人（内、京都ライトハウス分40人）

○公共図書館閲覧用 点字版36館（内、京都ライトハウス分18館）

なお、音声による情報提供システムにより点字JBニュースが聞けます。

全国共通電話番号（0570-021802）（有料：1分間約10円）

(2) 音訳奉仕者の養成と育成

①朗読奉仕員養成講習会

	開催日	場 所	受講者数	講師・テーマ
北部	8月7日～ 10月9日 (7回)	ギャラリー亀岡	9人	○講師 栗山由紀子 氏 (フリーアナウンサー)
南部	9月7日～ 10月19日 (7回)	宇治市総合福祉会館	11人	<テーマ> ・朗読の基礎知識及び発声 ・基礎の文章から応用文まで

②音訳奉仕者デジタル録音(編集)及び育成研修会

	開催日	場 所	受講者	講師・テーマ
丹後	6月13日	丹後視力障害者福祉センター (あい丹後)	15人	○講師 野村音訳指導員
	7月13日			
	9月13日			
京都	7月23日	ひと・まち交流館	15人	<テーマ> ・絵や図等の処理について ・ソフト技術の習得
	8月2日～4日 (3回)	宇治市総合福祉会館	25人	

6 点訳講習会等

『点訳のてびき第4版』説明会

開催日	場 所	受講者	講師・テーマ
2月24日	宇治市総合福祉会館	49人	○講師 近藤点字指導員 〈テーマ〉
3月27日	丹後視力障害者福祉センター（あい丹後）	16人	『点訳のてびき第4版』の改訂点・変更点の説明

7 研修会・全国大会等への参加

- 2018年度「サピエ」研修会 7/5～6 東京都
- 第44回全国視覚障害者情報提供施設大会 10/19～20 岐阜市
- 2018年度点字担当職員研修会 1/31 東京都

<参考> ボランティアの現況（平成31年3月末現在）

（人）

点 訳	音 訳	編 集	作 業	合 計	備 考
92	74	2	0	168	昨年度末164人

Ⅲ 同行援護事業関係

視覚障害者の外出の保障については、平成24年5月から障害者自立支援法による自立支援給付（障害福祉サービス）の指定同行援護事業所「丹後ガイドセンター」として「同行援護」＜①視覚的情報の支援（代筆・代読）②移動援護③排泄、食事等の介護＞の事業所指定を受け、京丹後市、宮津市、伊根町及び与謝野町の視覚障害者へこのサービスを提供しています。

平成30年度も視覚障害者の自立と社会活動への参加を促進し、福祉の増進を図るために関係行政機関等とも連携して、登録同行援護従業者の協力を得ながら、人権を尊重し、安心して安全な「同行援護」の提供に努めつつ、利用実績の確保に努めてきました。

また、サービスの質の向上やガイドヘルパーの確保のため、研修会等を開催すると共に、同行援護の支給決定に先立って「サービス等利用計画」の作成が必要な利用者のために、相談支援センターと連携して取り組みました。

1 同行援護事業の実施状況

(1) 利用者契約の状況と事業収入（各年度末現在）

区 分	30年度	29年度	比較増減
利用契約者数(人)	42	43	△1
ガイドヘルパー登録数(人)	31	34	△3
事業収入(千円)	10,709	8,557	2,152

(注)事業収入は、個人負担分を含む。口座引落手数料は、事業所負担。

(2) ガイドヘルパー稼働状況

区 分	30年度	29年度	比較増減	備 考
回 数(回)	999	898	101	
活動時間(時間)	5,277	4,668	609	

(3) 市町別利用の状況

(単位：件)

市 町 別	30年度	29年度	比較増減	備 考
京丹後市	921	826	95	契約者32名
宮 津 市	26	22	4	2名
伊 根 町	0	0	0	1名
与謝野町	52	50	2	7名
合 計	999	898	101	42名

2 研修会等の開催

(1) 30年度の同行援護従業者研修会については、旧制度で従事者講習を受講されていたヘルパーに、改めて新制度の講習を受講していただいたため、所内研修は実施しませんでした。

(2) 「同行援護従事者交流のつどい」

実施日：平成30年7月24日（火）

参加者：従事者8名、職員2名（施設長・サービス提供責任者）

会場：丹後視力障害者福祉センター2階研修室

内容：・同行援護ヘルパー要件の見直しと養成研修について
・日頃のガイドについての意見交流会